



平成25年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年9月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 銚子丸

コード番号 3075 URL http://www.choushimaru.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀地速男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 越智 洋 TEL 043-350-1266

四半期報告書提出予定日 平成24年9月28日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第1四半期の業績（平成24年5月16日～平成24年8月15日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第1四半期	4,431	1.9	308	126.9	309	120.4	175	242.3
24年5月期第1四半期	4,350	△2.7	136	△64.4	140	△64.8	51	△71.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第1四半期	60.42	—
24年5月期第1四半期	17.65	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第1四半期	7,763	4,446	57.3	1,531.67
24年5月期	7,446	4,349	58.4	1,498.24

(参考) 自己資本 25年5月期第1四半期 4,446百万円 24年5月期 4,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	27.00	27.00
25年5月期	—	—	—	—	—
25年5月期(予想)	—	0.00	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年5月期の業績予想（平成24年5月16日～平成25年5月15日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,927	4.2	422	63.6	440	59.7	241	96.9	83.31
通期	18,726	4.6	938	4.6	974	5.2	572	31.5	197.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（その他）に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年5月期1Q	2,903,600株	24年5月期	2,903,600株
25年5月期1Q	273株	24年5月期	273株
25年5月期1Q	2,903,327株	24年5月期1Q	2,903,327株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、欧州財政危機や円高などの影響があったものの、東日本大震災の復興需要を受け、穏やかではありますが回復基調で推移いたしました。

外食産業におきましては、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念等により消費者の節約志向が依然として根強く、総じて厳しい状況が続いております。

このような状況において、当社は経営理念に掲げる「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します。」に基づいた「おいしい舞台」作りのために、「飽きの来ない旬の食材」「鮮度」「海の香り」「魚屋の精神」「番屋の雰囲気」を追求するとともに、「おもてなしの舞台」を完成させるために、「親切・思いやり・誠実さ」に溢れた接客・サービスを愚直に実践し、「お客様のご要望に対して、何が足りないのか」を常に考え、全社一丸となってお客様に愛される店舗づくりに邁進いたしました。

店舗開発につきましては、当第1四半期会計期間における出退店はなく、当第1四半期会計期間末の店舗数は79店舗となっております。

販売促進につきましては、銚子丸らしい商品の拡充と時節の食材によるイベントの継続的開催を実施するとともに、特に産地直送による「番屋の雰囲気」づくりに注力し、お客様の来店動機高揚に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は44億31百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は3億8百万円（同126.9%増）、経常利益3億9百万円（同120.4%増）、四半期純利益は1億75百万円（同242.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ3億17百万円増加し、77億63百万円（前事業年度末比4.3%増）となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ3億73百万円増加し、47億31百万円（前事業年度末比8.6%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金2億48百万円、預け金68百万円及び棚卸資産51百万円の増加であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ55百万円減少し、30億32百万円（前事業年度末比1.8%減）となりました。これは、減価償却等による店舗設備の減少によるものです。

(負債・純資産)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ2億20百万円増加し、33億16百万円（前事業年度末比7.1%増）となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ2億34百万円増加し、26億53百万円（前事業年度末比9.7%増）となりました。主な内訳は、短期借入金の増加4億25百万円及び未払法人税等の減少1億62百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ14百万円減少し、6億62百万円（前事業年度末比2.1%減）となりました。

また、純資産は、前事業年度末に比べ97百万円増加し、44億46百万円（前事業年度末比2.2%増）となりました。主な内訳は、当第1四半期累計期間の四半期純利益1億75百万円及び第35期期末配当金の支払78百万円であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、売上高187億26百万円、営業利益9億38百万円、経常利益9億74百万円、当期純利益5億72百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き「すし銚子丸」業態に事業領域を集中し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の一都三県に出店地域を特化して新規出店を推進してまいります。第36期（平成24年5月16日から平成25年5月15日まで）の新規出店数は、6店舗を計画しております。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題、市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成24年8月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,861,048	4,109,961
売掛金	11,416	11,452
原材料及び貯蔵品	212,636	263,992
預け金	78,049	146,149
その他	195,295	199,967
流動資産合計	4,358,446	4,731,523
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,119,270	1,104,740
その他(純額)	533,014	505,230
有形固定資産合計	1,652,285	1,609,970
無形固定資産		
投資その他の資産	63,144	62,734
敷金及び保証金	779,030	777,926
建設協力金	324,327	313,796
その他	269,890	268,747
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,372,170	1,359,392
固定資産合計	3,087,600	3,032,097
資産合計	7,446,046	7,763,621
負債の部		
流動負債		
買掛金	862,883	878,908
短期借入金	90,000	515,000
未払金	884,040	805,941
未払法人税等	302,352	140,139
賞与引当金	72,700	17,920
株主優待引当金	26,921	21,481
その他	180,520	274,564
流動負債合計	2,419,417	2,653,956
固定負債		
資産除去債務	163,121	163,592
長期未払金	359,700	359,700
その他	153,925	139,442
固定負債合計	676,746	662,734
負債合計	3,096,164	3,316,691

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成24年8月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	3,797,885	3,894,928
自己株式	△636	△636
株主資本合計	4,350,028	4,447,071
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△146	△141
評価・換算差額等合計	△146	△141
純資産合計	4,349,882	4,446,930
負債純資産合計	7,446,046	7,763,621

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年5月16日 至平成23年8月15日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年5月16日 至平成24年8月15日)
売上高	4,350,783	4,431,891
売上原価	1,815,828	1,789,506
売上総利益	2,534,955	2,642,385
販売費及び一般管理費	2,398,903	2,333,644
営業利益	136,051	308,740
営業外収益		
受取利息	1,387	1,274
協賛金収入	2,023	—
その他	3,472	1,690
営業外収益合計	6,883	2,964
営業外費用		
支払利息	1,610	1,079
現金過不足	902	958
その他	35	298
営業外費用合計	2,547	2,336
経常利益	140,387	309,368
特別損失		
固定資産除却損	—	1,212
減損損失	45,901	—
特別損失合計	45,901	1,212
税引前四半期純利益	94,486	308,155
法人税等	43,237	132,722
四半期純利益	51,249	175,432

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。